NEWS LETTER

株式会社　ホロスプランニング

2026 4月号

HOLOS Planning
Part of HOWDEN

オフィシャルインフォメーション

生命保険乗合代理店業務品質評価運営 認定更新のお知らせ

日増しに暖かくなり、春の訪れを感じる季節となりました。年度の節目となるこの時期、皆さまへ大切なご報告がございます。

株式会社ホロスプランニングは、一般社団法人生命保険協会が運営する「代理店業務品質評価運営」制度の**「認定代理店」**として、この度、認定資格を更新する定期調査を受け、無事、継続することが出来ました。

認定代理店
SINCE 2023

この制度は 2022 年から始まったもので、約 33,000 店ある生命保険法人代理店から 54 社が審査を申込み、当社は第 1 回の審査で 2023 年 2 月に認定を受けた 42 社の 1 社です。

この審査は 4 つの視点に基づいた調査項目で構成されています。

① **顧客対応**：契約時の意向把握や情報提供が適切に行われているか。
② **アフターフォロー**：給付金請求や契約後の情報提供体制が充実しているか。
③ **個人情報保護**：お客さまの情報を組織的に厳格に管理できているか。
④ **ガバナンス**：苦情管理や募集人指導など、健全な経営が行われているか。

これら 4 つの視点における約 140 の基本項目に対し、PDCA サイクルが実効的に機能しているのかについて調査がなされ、基本項目をすべてクリアすることが認定の基準です。

この認定代理店となることをゴールとするのではなく、日々の募集やサポートを振り返り、継続的に改善を続けることが重要であると考えています。今後も、法令等を遵守した募集活動はもちろんのこと、分かりやすい情報提供に心掛け、ご契約後のサポートを大切にしてまいります。

新年度も、皆さまの「素敵な活き方を応援する」パートナーとして、より高い業務品質・募集品質を目指してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

「代理店業務品質評価運営」制度についてはこちらをご覧ください。
https://www.holos.jp/quality2026/

ライフコラム

いま、背中丸まっていませんか？

さて突然ですが、今このレターを読んでいるあなたの「姿勢」はいかがでしょうか。もしかすると、少し前かがみになっているかもしれません。スマホやパソコンを長時間使う現代では、知らないうちに背中が丸まり、頭が前に出た姿勢が増えています。

人の頭の重さはおよそ 5〜6kg ほどあります。ボウリングの球に近い重さと言われると少し驚きますよね。本来、頭は背骨の真上に乗ることで、その重さを効率よく支える構造になっています。

しかし、アメリカ・ニューヨークの脊椎外科医、ケネス・ハンスラージ博士が 2014 年に発表した有名な研究（通称：スマホ首の研究）によると、頭がわずか 15 度前に傾くだけで、首には約 12kg もの負担がかかるという試算があります。このことから、スマートフォンを見るときのように頭が前に傾くと、首への負担は著しく増大するというわけです。こうした姿勢は、肩こりや首の痛みだけでなく、胸が圧迫されることで呼吸が浅くなり、疲れやすさや集中力の低下にもつながることがあると言われています。ぜひ今日、ふと気づいたときに背筋をすっと伸ばしてみてください。それだけで少し気分まで変わるかもしれません。

ちょっと一息。ビジネス小話

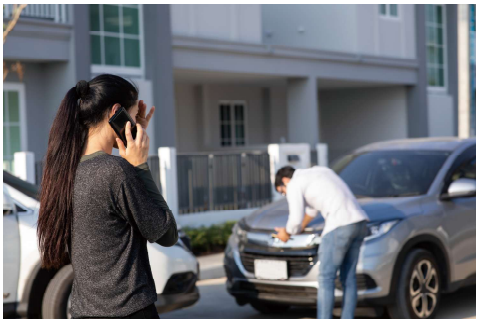
AIは感情を持たない。それでも私たちは…

将棋や囲碁の世界ではAIがトップ棋士に勝利し、医療分野では画像診断の精度が専門医と同等、あるいはそれ以上と評価されるケースもあります。
このような話を聞くと、「いずれAIが人間の仕事をすべて奪うのではないか」と不安に感じる方もいるかもしれません。しかし一方で、AIには人間のような「理解」や「感情」、そして経験に基づく判断力があるわけではありません。
興味深いのは、AIがまるで人間のように会話をすると、私たちは「理解してくれている」と感じてしまうことです。共感するような言葉を返してくれたり、自然な会話をすると、人はついAIに感情があるかのように受け取ってしまいます。これは心理学で**「擬人化」**と呼ばれる現象です。ロボットやキャラクターに性格を見出したり、機械に対して「頑張っている」「機嫌が悪い」と感じてしまうのも、その一例です。

AIは膨大なデータをもとに、最も適切と思われる言葉や答えを導き出しているにすぎません。しかし私たちは、その振る舞いから感情や意思を読み取ってしまいます。AIの進化は驚くべきものですが、AIがどれほど精巧に言葉を紡いでも、それは計算の結果です。しかし、私たちがそこに「共感」を求めてしまうという事実は、人間にとって「感情の交流」がいかに不可欠であるかを教えてくれています。

効率化が進む時代だからこそ、理屈やデータだけでは割り切れない「お相手の気持ち」に寄り添うこと。そんな人間臭いコミュニケーションの価値が、これまで以上に高まっているのかもしれません。

知ってるようで知らない 保険のハテナ？



Q 交通事故で入院した場合、医療保険と自動車保険の給付は両方もらえる？

A. どちらか一方しか使えない
B. 両方から受け取れる
C. 自動車保険が優先される

A 自動車保険は事故で失った実費や損害を穴埋めして「マイナスをゼロに戻す」ためのものですが、医療保険は入院や手術といった事実に対して定額が支払われる「お見舞い金」のような性質を持っています。役割が「損害補償」と「給付」で異なるため、原因が事故であっても両方から受け取ることが可能です。　正解：B

このニュースレターは、ホロスプランニングが配信している
公式メールマガジンの内容を転載したものです。

ホロスプランニングでは、「お金・保険・健康」などの暮らしに役立つ情報や、当社の取り組みをご紹介するメールマガジンを配信しています。ご登録いただくと、このニュースレターの内容を毎月メールでお受け取りいただけます。ぜひQRコードからメルマガ登録をご利用ください。

メルマガ登録はこちら

発行　株式会社ホロスプランニング
〒604-8152　京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町
659番地 烏丸中央ビル4階
TEL：075-222-6700
FAX：075-222-2070
HOLOS Planning
Part of HOWDEN

HPH 260326-002-01